

令和 7 年度第 2 回宇治市国民健康保険運営協議会議事録（要旨）

令和 8 年 1 月 8 日（木） 14：00～15：20

宇治市役所 8 階 大会議室

（出席） 宮本会長、森下副会長、池本委員、尾島委員、稲田委員、山口委員、山本委員、
吉田委員、幸道委員、金委員、奥村委員、井上委員、高木委員、川野委員、
北村委員、山田委員
松村市長、星川部長、堀江副部長、大槻課長、永池課長、山口副課長、
横山主幹、渡邊係長、青山係長、大西主任、杉山主任、小林主事

（欠席） 森居委員、玉井委員、小尾委員

（傍聴者） 1 名

（報道関係） 1 名

1. 開会

- ・事務局より、「宇治市国民健康保険運営協議会の会議の公開に関する事項」に基づき、
会議の公開について報告
- ・事務局より、会議の成立確認報告
- ・事務局より、配付資料の確認
- ・事務局より、資料 1 に基づき令和 7 年度国民健康保険運営協議会の今後の流れについて
説明

2. 会長挨拶

3. 諮問

- ・松村市長より挨拶及び諮問
- ・松村市長公務のため退席
- ・諮問書の写しを各委員に配付

4. 議事

（1）会議録署名人の選出について

- ・事務局より会議録署名人の選出について説明
- ・会議録署名人につきましては、被保険者代表の稲田委員、公益代表の北村委員を選出。

(2) 令和7年度宇治市国民健康保険事業決算見込みについて

- ・事務局より、資料2に基づき説明。

会 長) この件について、ご意見ご質問があればお願いします。

委 員) 国民健康保険事業の収支については、厳しい状況が続くと考えていますが、収支不足が生じた場合、基金で補うという理解でよろしいですか。

事務局) 国民健康保険事業の主たる歳入は保険料なので、基本は保険料で賄いますが、国や京都府、市といった公費や基金を組み合わせる収支のバランスを取っております。

委 員) 保健事業の課題である、糖尿病や腎臓の病気に対する、重症化予防はどのようにして進めていくのでしょうか。

事務局) 重症化予防は保険者努力支援制度のほうで力を入れて取り組んでおります。被保険者の中にもおられる透析をされている方の分析も踏まえ、重症者の方の個別支援だけでなく、血圧を高くしないようなポピュレーションアプローチや適塩といった重症化をくい止めることも重視しております。

委 員) マイナ保険証を利用することで、重複投薬等が減る効果はあるのでしょうか。またその効果は医療費に反映してくるのでしょうか。

事務局) 厚生労働省から示されているマイナ保険証のメリットとしては、同意があれば過去の処方薬や健診情報などを医師・薬剤師がスムーズに共有でき、初診でも情報を踏まえたよりよい医療の提供が可能です。また、救急の際には、マイナ保険証を読み取ることで、かかりつけ医や患者の情報を把握し、適切な搬送が行うことができるといったことが示されています。

委 員) 今まではお薬手帳であったが、持参率は低いものでした。マイナ保険証になることで、持参率も上がり、時間も短縮され便利にはなりました。また、情報の確認がしやすくなったことで、お出しする薬を調整することが可能になっています。長い目でみるとマイナ保険証になってよかったと思います。本当に必要なお薬だけを出せるようになっていくのではないのでしょうか。

委員) 確かに薬剤師からの問い合わせもあり、適切な処方ができるかもしれません。ただ、マイナ保険証と資格確認書が混在していることで、受付手続きが複雑になっていることなど、運用面での課題もあります。

会長) 事務局からいただいた決算見込みの状況をまとめると、令和7年度は当初より収支状況は好転しており、基金繰入も少なく対応できる見込みですが、医療費が増加していることや、社会保険の適用範囲の拡大に伴う被保険者数の減少、さらには、令和8年度以降には子ども・子育て支援金制度の導入、診療報酬の改定が予定されており、現在よりも厳しい状況になることも想定されるという認識で良いですか。

事務局) そのように認識しています。

・事務局より、今後の日程について説明

会長) 今後、京都府より標準保険料率の提示がありまして、それも踏まえて協議をしていくことになりますので、各委員、ご予定をお願いいたします。

(閉会)

会議録署名人
